

晴山会 topics

VOL.63

「自分らしくあるために

大切にしたい食べる機能」を

テーマに勉強会を開催!!

平成28年7月26日(火) 地域ふれあい広場「はなしま」



7月26日午後6時30分から8時まで、地域介護公開研究会(参加者70名)が社会福祉法人晴山会の地域ふれあい広場「はなしま」で開催された。

今回は、東京歯科大学教授で、口腔健康科学講座・摂食嚥下リハビリテーション研究室を主宰されている石田瞭氏を講師として、「自分らしくあるために大切にしたい食べる機能」をテーマにした勉強会であった。

講演は、まず講師から「食べることは何なのか」との問いから始まり、食べることは単に栄養を取るのではなく、人間が人間らしくあるための根源的な営みであり、楽しむことだけでなく日常生活のリズム形成やその人らしさを維持するものであることが述べられた。

また、ものを食べること(飲み込み機能)も加齢とともに低下し、咀嚼障害など摂食嚥下障害を患いやすくなることや、より長く食べることを続けるため(機能維持)に行えることとしての体操なども紹介された。

人は「食べること」が生きていくための基本的な行為ではあるが、「食べること」はその人が自分らしくあるために重要な行為であることを深く理解させられる有意義な勉強会であった。

— 第59回地域介護公開研究会について —

次回の開催については、内容等が決まり次第お知らせします。